

目指すのは助け合いの心で安心に暮らせる街づくり。病気やけがなどで日常生活に困っている人に掃除や買い物、託児をしてあげる「たすけあいサービスマニヤ」から始めた。年々事業を広げ、現在は介護保険事業、障害福祉サービスマニヤもしている。昨年四月には半田市の委託を受け、放課後に児童を預かる学童保育も。

村上真喜子理事長（左）が「零歳から九十代までの人にかかわれ

りんりん

るのがこの特徴」と話すように、施設には子どもから高齢者まで幅広い層の人が集まる。介護予防の一環として週に一度、会員女性らが集まり、ほかの会員の昼食を作って会



昼食を作る会員ら—半田市岩滑高山町のNPO法人「りんりん」で

食を楽しむ。「いろんな人と話せるのでこの日が楽しみ」と参加者の笑顔が並んだ。「りんりん」という名の由来は人のつながりを示す「輪」、近所同士の「隣」など漢字にすると複数の意味があるから。聞かれるたびに村上さんは「自分の好きな字を当てはめて」と伝えている。

(石井紀代美)

りんりん 半田市
岩滑高山町5の4。
1994年発足、会員257人。年会費3000円。電0569(21)3646